

備前市事務事業評価表

事業の概要			
事務事業名	身体障害者福祉推進事業	コード	02-01-03-05
事業開始年度	平成13年度(スポーツ大会)	根拠法令・要綱等	
総合計画	大項目 基本目標 健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	社会福祉課
	中項目 基本施策 やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	障害者福祉係長 山本光男
	小項目 施策 障害者(児)福祉	電話	64-1824

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	知的、身体障害者
目的(何のために)	障害者がスポーツを通じて交流を深め、大会等へ参加することで福祉の増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	岡山県障害者スポーツ大会への参加。ボーリング大会等の開催。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者がいろいろなスポーツ大会等に参加し交流を深めることで福祉の増進を図りたい。

事業の実績					
	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
活動実績	スポーツ大会参加者数	人	60	57	60
	ボーリング大会参加者数	人	46	33	31
	直接事業費	千円	446	345	303
	人件費		4,759	2,090	379
	事業費計		5,205	2,435	682
	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	市一般財源		5,205	2,435	682
	必要人員	人	0.63	0.25	0.05
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標	スポーツ大会参加者数	説明 岡山県障害者スポーツ大会の参加者数			
	結果指標量	人	60	57	60
	対前年比	%	-	95.0%	105.3%
	活動コスト	円	3,152,900	1,524,000	363,000
	単位当たりコスト	円	52,548	26,737	6,050
結果指標	ボーリング大会参加者数	説明 ボーリング大会の参加者数			
	結果指標量	人	46	33	31
	対前年比	%	-	71.7%	93.9%
	活動コスト	円	2,352,000	911,000	319,000
	単位当たりコスト	円	51,130	27,606	10,290

事業の成果			
成果指標名	スポーツ大会等参加者数	式又は説明	岡山県障害者スポーツ大会及びボーリング大会の参加者を増やしたい
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	106	90	91
対前年比		84.91%	101.11%
到達目標値	110	到達目標年度	22年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	妥当性評価<A-E> <b>B</b> 課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	岡山県障害者スポーツ大会、ボーリング大会とも、知的・身体障害者の健康増進及び社会参加のために寄与している。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
	市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	スポーツ大会については、備前市選手団を組織して参加している。また、ボーリング大会については、障害者組織に委託して行っている。大会には関係団体の職員も多数あり、市職員の参加数を減少できた。	
手	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の見解・要望が反映しやすい		有効性評価<A-E> <b>C</b> 課題認識
場	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	各事業とも参加者数が減少傾向にあり、参加者を増やす工夫が必要である。	

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 60	結果指標量 40
	成果指標量	100

総合評価		評価区分 <A-E>	
大会に参加する選手だけでなく、応援者の参加もあり、障害者同士の親睦が図られており、目的に沿った事業が実施されている。		<b>B</b>	

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果